

< その他、取組に特徴のある事例 >

交付金で集落環境の整備

1．集落協定の概要

市町村・協定名	山口県 ^{ひかりし} 光市・ ^{いりの} 入野			
協定面積 6.5ha	田（100%）	畑	草地	採草放牧地
	水稻・大豆			
交付金額 117万円	個人配分			50%
	共同取組活動 （50%）	役員報酬		13%
		鳥獣害防止対策		4%
		水路・農道等の維持管理経費		19%
		景観形成作物栽培経費		1%
その他事務費等		13%		
協定参加者	農業者 7人、非農業者 2人、農業法人 1団体			開始：平成24年度

2．取組に至る経緯

入野集落は、光市の北東に位置する塩田地区のほぼ中央にあり、ほ場整備された水田を中心に美しい景観を維持してきた。高齢化など将来への不安があるなかで、知事特認の要件緩和や行政からの働きかけもあり、制度への取組を決め、平成 24 年度から新規の集落協定として取組を開始した。

3．取組の内容

協定農用地内の水路・農道の清掃や草刈りなどの維持管理作業を共同取組活動として年 2 回程度行っている。さらに、自治会長にも非農業者として協定に参加してもらい、これらの活動を集落協定と自治会が連携して行うことにより、より良い集落の景観が維持されている。近年、イノシシやサルなどの鳥獣被害が拡大しているため、柵で囲ったり、電気柵を設置したりと、鳥獣被害防止の対策に力を入れている。

また、今年度の取組では山の上に設けられていた行者社（ぎょうじゃしゃ）をお参りしやすいように集落内に移設するなど、集落環境の整備にも力を入れている。

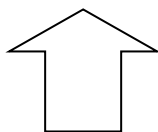


【協定風景】

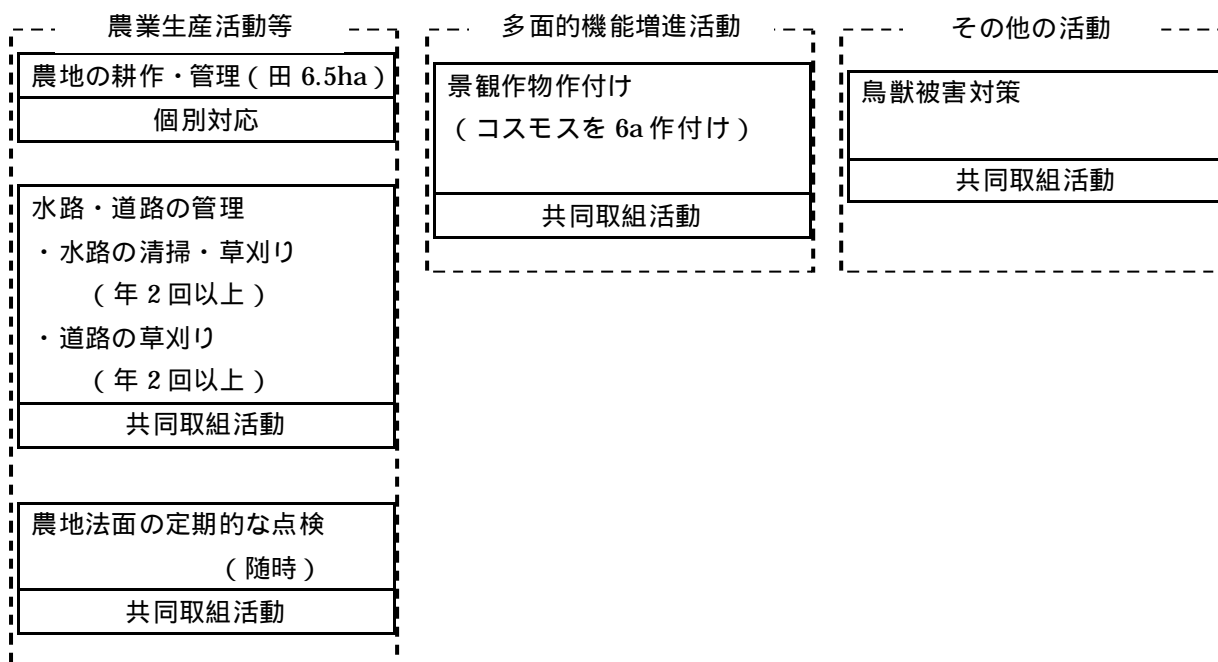


【共同作業風景】

[集落の将来像]
農地の保全及び、集落の更なる活性化



[将来像を実現するための活動目標]
持続的な農業生産活動等の体制整備



4 . 今後の課題等

協定参加者の高齢化

後継者の育成